

第2回 軽井沢セミナー

～プロフェッショナリズムを学ぶ～

日時：平成28年3月12日（土）17:30～13日（日）16:00

会場：ホテル鹿島ノ森（長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 1373-6）

主催：長野県、信州医師確保総合支援センター 共催：信州大学医学部地域医療推進学講座

対象：医学科学生（学年不問）・研修医 50名（定員になり次第締め切らせていただきます）

会費（宿泊費＋3食食費）：学生 3,000円、医師 5,000円

第一日目（平成28年3月12日）

★ ナイトセッション

「逆境を武器に。夢を夢のままで終わらせない」

宮澤 崇史 氏 元自転車プロロードレーサー



長野市出身。中学生の時に自転車競技、ロードレース「ツール・ド・フランス」に魅了され、自転車部のある長野工業高校に入学。在学中にシクロクロス世界選手権（ジュニア）出場した後、イタリアに留学。2001年に母親が重症肝疾患と診断され肝臓の一部を生体肝移植で提供。その後、リハビリを行い競技に復帰し日本を代表する選手として世界で活躍。北京五輪出場やアジア自転車選手権・個人ロード、全日本選手権ロードレースに優勝するなど輝かしい成績を残し、2012・13年にはUCI（国際自転車競技連合）登録のプロチームのサクソバンクに所属し、世界トップクラスの選手たちと競った。2014年に現役を引退。

★ 懇親会

第二日目（同3月13日）

★ モーニングセッション

★ 基調講演

「もはやヒポクラテスではいられない」時代の医療者像

尾藤 誠司 先生 国立病院機構東京医療センター 臨床研修科医長



国立長崎中央病院、UCLAなどを経て東京医療センター臨床研修科医長として勤務。専門は、臨床研究、臨床疫学医療コミュニケーション。東京医療センター臨床研究センター臨床疫学研究室長、国立病院機構本部臨床研究推進室長、日本内科学会認定総合内科専門医、日本プライマリケア連合学会指導医として活躍。医師と患者の新しい信頼関係を目指した「もはやヒポクラテスではいられない21世紀宣言」の中心メンバーとして活動のほか、著書『「医師アタマ」との付き合い方—患者と医師はわかりあえるか』では、患者と医師の関係、医師の発言の背景などを丁寧に解説し、医師と上手に付きあっていく方法を提言。

★ グループワーク：「新医師宣言」とともに患者さんへの向き合い方を考えてみる

★ ランチョンセミナー

★ パネルディスカッション：様々な視点からの医師のプロフェッショナリズム

当日は、松本駅から無料送迎バスの運行を予定しています。利用を希望される方は、申込時にお申し出ください。

バス運行予定については、信州大学医学部地域医療推進学講座ホームページ <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/i-chiikiiryō/> をご参照ください。

申し込み・問合せ先：

信州大学医学部地域医療推進学講座 担当：長谷、中澤

電話：0263-37-2548

Eメール：yuichi@shinshu-u.ac.jp